



診察室で語る親愛聖人の土田さん

**わたしの
心ひかれる書物**

医療法人五省会評議員

土田亮一

「看護の日」記念事業は、昨年に続き、二回目の開催。大ホールいっぱいの参加を得て、午後一時半より、フルート演奏家・吉田

春代さんが（天島町在住）によるコンサートから始まつた。吉田さんは、「フルートはヨーロッパから来た横笛。美しい音色をお楽しみください」とあります。

上野ソトさん（富山市北代・八三）が当院二階東デイルームに活

けている季節の花が、入院患者さんや看護婦のあいだで話題をよん

でいる。上野さんがデイルームに花を活け始めたのは、夫の金義さんが昨

年九月に入院してから。

「ケガや病気で入院している患者さんに少しでも明るい気持ちになつてほしい。我が家

庭に咲いている花です

が、皆さんに喜んでいただけたら私も嬉しいです」

と上野さん。流派は

大変な風が吹く五月ある日、高岡市立野村小学校に辻節子さん

が、皆さんがスキーに出かけた志賀高原で、右膝関節と脛骨の骨幹部

を骨折したのは、昨年の十二月二十七日。翌

月六日に手術となりました。「病院でお正月なんて、と思ってい

た」と振り返ります。

「看護婦さんや同僚た

も転任しました。まだ歩くのに慣れないけど、子どもたちも気遣ってくれて助かります」

辻さんは、音楽や図工の授業、校内研修の指導にもあたるべテラ

ン先生。

最近は、親鸞が弟

の本は大きな振り所になっています。（談）

届 食 拝 見
トータルキットワーク・ブルー代表
重原 千賀子さん

「四月に牧野小学校から出された手紙をまとめて『末燈籠』をよく読みます。これは、在

りかかるものがあつたんですね。

親鸞の「教行信証」。その頃から、親鸞の教え

を読みました。親鸞が弟

の本は大きな振り所になつています。（談）

長い間、内閣の開業医をしていて、親鸞の「法縁」を書かれていて感動しました。

実は昔、私はこの会社が作った抗がん剤「新澤市今井・四八

醇工業（株）の社長でした。

研究していでの、加藤辨三郎氏が日本出版社から出された患者

の本は大きな振り所になつています。（談）

親鸞の「教行信証」。その頃から、親鸞の教え

を読みました。親鸞が弟

